

令和5年度 山王保育所事業計画

1. 概要

①運営方針

- 近年、西成区内の保育所への入所申込数が激減しており、当園においても4月の時点で2歳児を除き、全てのクラスにおいて定員割れとなりました。コロナの影響や円安の関係で中国籍の入園数も減少傾向。一方でベトナム国籍の入園は口コミ等で増えており、0歳児の途中入所は特にベトナム国籍が増加傾向でした。しかし急な帰国や休暇で退園もあり、出入りの激しい年でした。5年度もベトナム国籍スタッフも雇用し、円滑に保護者とコミュニケーションが図れるよう、言葉の支援に努めます。また、地域との繋がりに加えて外国籍の方にも利用しやすいソフト面においてもバリアフリーな保育所を目指します。
- 自主事業として外国籍親子支援事業を立上げ中国籍・ベトナム国籍の職員を雇用し、地域の親子支援に繋がります。
- 園長が中心となり中間層職員の育成を行い、自立した層の厚い組織づくりを行います。
- 天王寺動物園など地域に積極的に出向き、当園ならではの保育を創造します。商店街や山王地域とも連携も深めます。
- 職員の働き方改革として、年間休日日数を増やし働きやすい環境を構築します。
- 業務の効率化を図るため、スマートフォンやパソコンを活用し、各研修や保育風景を YouTube、ドキュメンテーション等で共有し、保育の見える化を積極的に進め、保護者に分かりやすく保育内容等を伝えます。また、保育の質の向上などに役立てます。さんのうだよりについても作成の仕方を工夫し業務の短縮に繋がります。
- 不適切保育に対する研修会を実施し、ノンコンタクトタイムについても検討します。
- 療育を必要とする園児の増加に伴い、クリエバ（民間）リタリコと協力し合い、月に1回子どもたちの様子の情報交換を行い発達支援、また気になる子の支援に努めます。

②定 員 80名

③事業日数 293日（日曜、祝日及び12月29日より1月3日は休園とします）

④開所時間 平日7：30～18：30 土曜日7：30～18：30

⑤保育時間

| | | |
|----------|--------|------------------|
| （保育標準時間） | 平日・土曜日 | 7：30～18：30 |
| （保育短時間） | 平日・土曜日 | 早朝保育 7：30～ 8：00 |
| | | 通常保育 8：00～16：00 |
| | | 延長保育 16：00～18：30 |

⑥職員数

園長1名 主任1名 保育士16名（パート保育士3名 派遣保育士2名） パート看護師1名
栄養士1名 調理員3名（うちパート調理員2名）、保育補助2名 環境整備1名
産休職員1名
計28名 嘱託医（内科・歯科）各1名（内科年3回、歯科年1回 健診）

2. 保育運営

①保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、励まし合い、学び合う子ども社会の中で成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは、子どもの個性・人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

②保育方針

- 子どもたちが生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し、人として『生きる力』を育む。
- 保護者との信頼関係を築き、安心して預けられる保育の場を提供する。
- 地域における子育て支援のため、保育に関する相談や助言の役割を果たす。

③保育目標

- 乳児期の愛着関係を基盤とし、認知能力（記憶、計算、判定、言語理解など）と非認知能力（意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、思いやり、自己肯定感）を育む。

| ④クラスの編成及び職員配置 | | 定員 | 利用定員（4月予定） | |
|---------------|--------|-----|------------|---------------------|
| 0歳児 | さくらんぼ組 | 3名 | 2名 | 保育士1名 |
| 1歳児 | いちご組 | 16名 | 15名 | 保育士3名 |
| 2歳児 | もも組 | 10名 | 10名 | 保育士2名 |
| 3歳児 | くり組 | 19名 | 19名 | 保育士1名（3歳児対応加配保育士1名） |
| 4歳児 | みかん組 | 15名 | 15名 | 保育士1名（障がい児加配保育士1名） |
| 5歳児 | かき組 | 17名 | 17名 | 保育士1名（障がい児加配保育士1名） |
| 合計園児数 | | 80名 | 78名 | 保育士計13名 |

⑤保育内容

- 0歳児から5歳児までの発達過程と子ども一人ひとりの育ちの背景を理解したうえで、指導計画を立て、導入を大切に、子どもが「気づく、試す、面白い、もう一回」を繰り返す保育を行い、意欲と主体性を育みます。

- リトミックでは、ピアノの音を集中して聴き即時反応や、身体の使い方を丁寧に伝えます。また、「朝の意味ある運動」では保育者や子ども同士共感し合い、子ども自らが楽しんで参加できるような展開の仕方を考え取り組みます。
- 乳児期は保育士との愛着関係のもと安心して過ごせるよう「じゃれつき・運動遊び」を毎日取り入れます。また、普段の保育の中で視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚の五感と固有感覚・前庭感覚の発達を促す保育を行い、感覚統合に繋がるよう保育環境を整えます。
- 保育士の指示や声掛けが多くなっていることを保育士同士で注意しあえる関係を作り、子ども達に必要以上の声掛けはせず、その分、その子の思いや、発達を読み取るべく、子どもの姿を観察します。子ども自身で興味を持ち考え行動しようとする保育を行います。
- 年齢により出来るだけ少人数で、緩やかな育児担当制にて保育をおこないます。特に低年齢では、1カ所に子どもを集める人数等保育に時間差をつける等、改善すべき部分の見直しを行います。
- リーフレット「種をまこう」を教材として月1回人権教育を行います。リーフレットの話と共に普段の生活の中に散りばめられている場面を子ども達と一緒に考え、思いやりや善悪の区別等を示していきます。また、保育者も一人ひとりの子どもの人権を尊重した保育を行います。虐待への早期発見に努めます。
- 栄養士、調理師も給食時間に各クラスを巡回し、子どもの発達や嗜好を理解した上での献立、食育活動を計画します。給食室職員との連携のもと菜園活動やクッキング保育を行い、その活動が子どもたちの何に繋がり成長を促すのかの目標を共通理解して取り組みます。
- 今年度も外部講師による、体育指導、音楽指導（和太鼓）・英語指導・歌唱指導・サッカー指導、絵画指導を行います。
- 感染予防対策を行いながらも子供の成長に繋がり保護者の方々に飲んでいただけるよう行事内容を見直し計画を立て進めます。

⑥家庭との連携

- 保育参加（年2回）・個人懇談会・家庭訪問（各年1回）を通して保育理念、方針、クラスの取り組みを丁寧に伝え理解を求めるとともに、保護者の思いを聞き取りながら、子どもの育ちを双方で確認し合い、家庭と連携を図ります。
- ドキュメンテーションと YouTube（山王ちゃんねる）でその日の子どもの姿や保育のねらいを見える化し分かりやすく保護者に伝えます。また「さんのうだより」の内容について精査し、より有意義な情報発信に努めます。
- 外国籍の子どもが全体の30パーセント以上在籍しています。互いの文化を認め合いながら、外国籍親子支援事業や写真・動画などを用いコミュニケーションを図り、戸惑いなく保育所生活が送れるように支援します。
- 配慮の必要な家庭については各区の子育て支援室と連携し情報を共有し、必要に応じ子ども相談センターや、ケースワーカーと共に支援を行います。
- 発達障がいのある子どもの家庭には、毎月、面談で保護者と一緒に個別計画を立て保育を進めます。また、療育施設と連携を図り、情報の共有をします。

- 卒園児・転園児とその保護者への支援について卒園・転園後も継続して行い、子どもたちを見守り、主任が相談窓口として受け付けます。

⑦人材育成

- 園長や主任だけが行う仕事を極力減らし、中間層の育成を行うことで、トップダウンではなくボトムアップで自ら仕事に取り組める人材の育成を行います。
- 一日の流れの再度見直しを行います。日々の保育の中で確認し合い周知徹底を図ります。
- 雇用では新卒1名派遣職員1名の計2名が入職します。リーダーを中心に指導に当たり、「一日の保育の流れ」「入園のしおり」「入職時に伝えるべき事項」を漏れなくチェック項目にして伝えます。また質の向上につながるよう積極的に研修会を実施します。
- 毎週水・木曜日にクラス・乳児・幼児・リーダー会議を行い、職員同士の思いを伝える機会を設けます。互いの意見を受け止め認め合い関係をつくり、一人一人が組織の原動力となる一員であることを自覚し向上心をもって課題に取り組む力をつけたいと考えています。
- 園内の情報や困りごとは速やかに園長、主任保育士に報告・連絡・相談を徹底し、全職員が共有できる組織体制づくりに努めます。
- 年間の職員研修計画に基づき園内外の研修に参加し、保育の質の向上と同時に、法人理念・方針を理解できる職員育成に努めます。また、キャリアパス研修参加の機会を図ります。
- 定期的に大学教授等講師を招き研修を行い、保育の質の向上に繋げ、目標意識を持つ事で離職の少ない職場づくりに努めます。

⑧地域の実態に対応した事業

地域子育て支援事業

西成区、阿倍野区、浪速区、天王寺区の支援室、保健師等、社会資源と連携しながら進めます。また、ホームページや情報誌「はぎっず」にて情報発信をします。

- 月に4回地域交流を行います。(10:00～11:00)
第2金曜日…近隣の親子が安心して遊べる憩いの場としての園庭開放を行います。
第1、3、4金曜日…保育体験日。年齢に合ったクラスに親子で参加します。
また、言葉の壁のある外国籍親子についても地域で孤立しないように支援を考えます。
- プール開放や運動会、ハロウィン、クリスマス会など行事に地域の親子を招待します。
- 「スマイルサポーター」の活動を通し相談事業を行います。

地域活動

- 天下茶屋保育所、天下茶屋幼稚園、わかくさ保育園と保幼交流を行います。
- 山王老人会や、隣接している老人施設みどり苑で和太鼓演奏を披露し、交流を行います。
- 就学先の小学校を訪問し各教室や授業風景を見学し就学に向け意識付けをします。
- 金塚小学校主催の「金塚祭り」に参加し小学生と交流します。
- 今宮中学生の職場体験学習の受け入れをします。
- 西成警察署と連携し地域防犯活動やクリーンキャンペーンに参加します。
- ボランティア学生の受け入れをします。

⑨苦情処理

- 第三者委員2名の設置をし、苦情解決の責任者を園長、苦情受け付け担当者を主任保育士とします。苦情解決システムについては入園のしおりやポスターを貼り出し、入園説明会で保護者に周知します。
- 「ご意見箱」を2箇所設置し、保護者からの意見の集約をします。
寄せられた意見について、全職員に周知し速やかに改善計画を立て再発防止に努めます。また、概ね24時間で回答書を掲示し、協議中の事案については経過の報告をします。

⑩リスクマネジメント

- 環境整備の人材を中心に日々、消毒場所や時間を決め記録をとりながら漏れのないように衛生管理を行います。また、保護者、園児、職員とも毎日欠かさず健康観察表に体温等記入し体調チェックを行います。
- 職員は子どもと一緒に昼食をとらず、別時間に順に昼食をとります。(ノンコンタクトタイム)
- 「よい子ネット」を利用し、非常災害時や感染症発生状況等の配信を随時行っていきます。また非常災害対応については、3月の個人懇談会で一人一人に伝え、緊急連絡先の確認を行い次年度に備えます。
- 危機管理委員会を中心に危機管理マニュアルの見直しを園内研修計画に位置付け、新人職員に分かりやすく、また、パート職員を含め全職員に行き渡るように周知していきます。
- 保健年間計画に基づき、感染症・SIDS対応・誤飲誤嚥・予防接種・食中毒・救急看護等の園内研修を行います。特にSIDS・誤飲誤嚥・アレルギー誤食・溺水・吐瀉物の処理は役割を決めマニュアル通りシミュレーションして実際に備えます。
- ヒヤリハットを気付く毎に記入し職員会議で話し合うことで怪我や事故を未然に防ぎ子どもが安全に過ごせるように努めます。また、早急に対処が必要な場合は園長、主任保育士に直に相談し速やかに対処します。
- 災害に備え備蓄品等防災グッズの確保と点検を行います。(3月)
- 月1回防災訓練を実施します。(火災・地震・津波・台風・消火訓練・通報訓練等)
- 救命救急の職員研修(年1回5月・西成消防署)また、総合災害訓練(火災・消火・地震)
- 防犯訓練を行います(西成警察と連携)

⑪その他

- 0～1歳児畳張り替え、長尺シート(大阪市と協議)
- 携帯電話購入3台～6台 40万～85万
- パソコンの購入(1台)20万
- ビジネスフォン入替え(リース)200万
- エアコン入替え(大阪市と協議)
- ベンティエール導入(1F)150万
- 車両購入 300万
- 大阪市より二階ベランダの防水工事、組立プール購入を予定しています。(今年度実施予定)

- 建物及び門等塗装の塗替え（大阪市と協議）
- 北側壁倒壊の可能性について（大阪市と協議）